

平成 28 年度 長伏小学校区 第 1 回地域コミュニティ連絡会のまとめ

作成：三島市役所地域安全課きずなづくり推進室（TEL：055-983-2708）

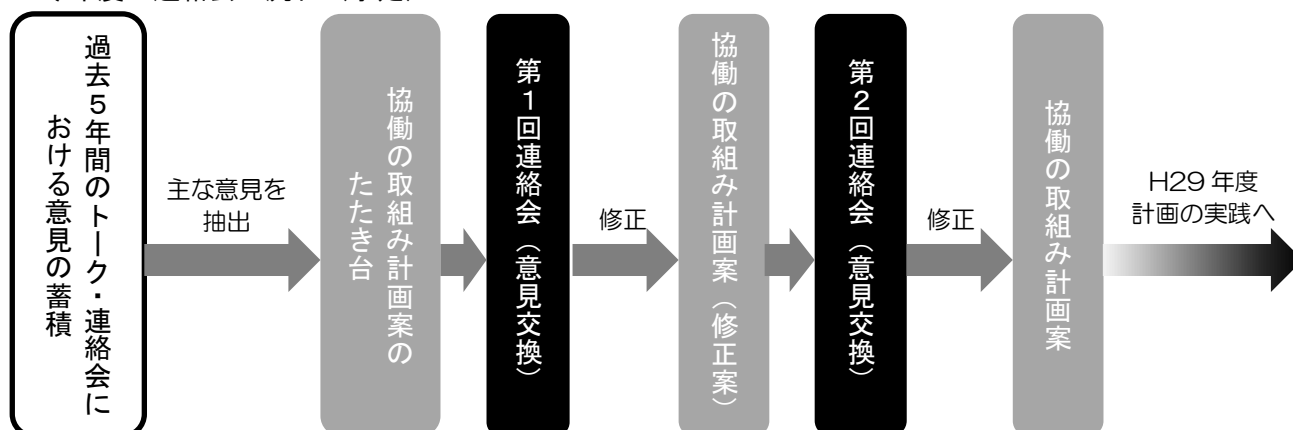
7月12日（火）に開催された「長伏小学校区第1回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。まとめができましたので、送付いたします。

※市のホームページにも掲載しています。

■開催概要■

| | | | |
|---------------|---|--|---|
| 日 時 | 平成 28 年 7 月 12 日（火） 19:00～20:40 | | |
| 会 場 | 中郷文化プラザ | | |
| 参加団体 (27名) | 松本町内会 長伏町内会 松本幼稚園 PTA 長伏小学校 長伏小学校 PTA | 中郷西中学校 中郷西中学校 PTA スクールガード 長伏小学校支援地域本部 中郷西中学校支援地域本部 御園子ども会 | 松本子ども会 消防団第18分団 保健委員会 民生委員・児童委員 長伏老人会 保護司会 |

■今年度の連絡会の流れ（予定）■



地域の情報交換のまとめ

●連絡会の中で、地域の皆さんに知ってほしいことや協力を仰ぎたいことなどを共有しました。

～各団体/より校区の皆さんへ、情報提供&ご協力をお願い～

- ◆長伏小学校 PTA：今年度は整備作業に力を入れる。5/21「整備作業」、12/3「廃品回収」実施。
- ◆長伏小おやじの会：本年度より発足。9/4「ピオトープ整備」(学校支援地域本部と協同)を実施、ご協力願います。11/3「イザ！カエルキャラバン」(防災イベント)を計画。
- ◆長 伏 小 学 校：11/26「長伏祭」、2/24「6年生を送る会」地域の方もぜひお越しください。
- ◆長伏小学校支援地域本部：本年度より発足。環境整備、登下校の見守り、読み聞かせ等のボランティアを募集中。地域とPTAが密になり、地域も学校の手助けをしていきたい。
- ◆中 郷 西 中 学 校：9/24「運動会」(農兵節)、11/26「教育講演会」、地域の方もご参加下さい。
- ◆長 伏 町 内 会：子ども会存続について、子どもの為に保護者(PTA)に協力をお願いしたい。

意見交換のまとめ

- 第1回連絡会では、2つのグループに分かれて計画案のたたき台に関する意見交換をしました。
- この結果をもとに協働の取組み計画案を修正し、第2回連絡会で皆さんに再びご意見をいただく予定です。

こんな小学校区にしたい

【Aグループ】

●笑い声・あいさつ・声掛け

- ・笑い声がある小学校区
- ・笑いのある小学校
- ・声をかけあえる人間関係
- ・あいさつを多くする
- ・声をかけあえる校区
- ・あいさつはとても大事。きずなが深まる
- ・大人も子どもも、あいさつしあえる

●つながり・子どもも大人も

- ・横のつながりがある
- ・赤ちゃんからお年寄りまでボーダーレスな地域
- ・みんな家族のような長伏地区
- ・高齢者、子どもを見守り安全に過ごせる町

●その他

- ・水と緑と子どもの声、放郷長伏
- ・子どもの為に親が頑張るべし

【Bグループ】

●笑顔・あいさつ・声掛け

- ・全ての人が笑顔
- ・笑顔
- ・笑顔のあいさつ
- ・どこでも誰でもみな挨拶。そして笑顔いっぱい
- ・だれにでも、いつでも、自分から、あいさつ、声かけ

●つながり・きずな

- ・つながり
- ・きずなのある町

●その他

- ・安全
- ・優しい人づくり
- ・熱心な大人たちの集まりの中で、長伏地域の充実、発展を祈ります

お困りごと・現在の状況

| | A グループ | B グループ |
|------------|---|--|
| 子どもの安全 | <ul style="list-style-type: none"> ・スクールガードを知らない地域の方は多い。 ・スクールガードは自治会役員が担っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・スクールガード時、交通安全指導とあいさつ運動を行っているが、10%位の児童は完全に無視して行ってしまう。 ・不審者は実際にいるので、区別が難しい。(特に低学年) ・知らない人に挨拶するかどうかは、子どもの性格による。内気な子が多い。 ・中学生はあいさつを恥ずかしがる。 |
| 地域住民の交流 | <ul style="list-style-type: none"> ・小中学生に会えば必ず声掛けをするが、反応がない。挨拶してもらえるように努力しているが、無視され続けている。子どもとの交流がないからなのか？ ・小学校のボランティア協力依頼が、回覧で回ってきて、初めて知った。回覧板は一般の人が情報を知る手段。 ・回覧板に綴じられている枚数多くて、見られない。情報が多いと見ない、読まない。 | |
| 子ども会の入会者不足 | <ul style="list-style-type: none"> ・子ども会に入会する人が少ない。役員をやるなら入会しないという大人げない大人がいることが疑問。 ・子ども会の負担が大きい。 ・スポーツ少年団と調整つかず、子ども会を退会される。 | |

取組みたいこと

| 消防団などと連携し、災害に備えよう | | |
|-------------------|---|---|
| | A グループ | B グループ |
| 啓発活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練に参加しよう。 | <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達に消防団の大切さを知らせる場として、<u>小学校で実施するカエルキャラバン</u>を活用する。 →参加できるが、子どもにどのように伝えるかが課題。(消防団) |
| 消防団 OB | <ul style="list-style-type: none"> ・消防団員の確保から始めよう。 | <ul style="list-style-type: none"> ・消防団員が仕事で地元にはいないことが多いので、<u>地元にいる消防団 OB</u>の力を借りることも必要ではないか。 |
| 女性の消防団 | | <ul style="list-style-type: none"> ・<u>女子消防団</u>を作ったらどうか？ ・女子の消防団も必要なこともある。 ・すでに市には女性消防団がある。 |

| 消防団などと連携し、災害に備えよう | | |
|-------------------|--|---|
| | A グループ | B グループ |
| 子どもに経験させる | | <ul style="list-style-type: none"> ・町内防災訓練で、<u>子どもが消火ポンプの操作を実施した</u>。非常に良い。 ・<u>火災予防週間の夜警（消防車）</u>に、子どもを同行させて、子どもの声で呼びかけたらどうか？ →火災が発生した場合に困る。 |
| 要介護者支援 | | <ul style="list-style-type: none"> ・若い世帯に近所で要介護者が住んでいる場合、<u>日ごろから声掛けの協力を促す</u>。 →戸建てはわかるが、アパートが困る。 |
| マニュアル作成 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害活動への中学生の参加は必須であるが、年数回訓練をやっただけでは、実際に現場において頭が真っ白になるだろうから、一般の人も含め、目で見えて解る<u>マニュアル作成等</u>を行いたい。 | |

| スポーツを通じて地域のきずなを深めよう | | |
|---------------------|--|--|
| | A グループ | B グループ |
| 運動会の意義周知 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもも参加できる種目はあるが、勝負にこだわる人がいるので参加しにくくなる。 ・運動会の参加率が低いので、参加する<u>意義（きずなを深める等）の理解を促す宣伝の実施</u>。 | |
| 運動会の種目 | <ul style="list-style-type: none"> ・運動会に<u>子どもの種目を多くする</u>ことは良いと思う。 | |
| 子ども会 | <ul style="list-style-type: none"> ・子ども会の役員は負担が大きい。<u>負担を減らす工夫が必要</u>。 ・<u>他団体等に協力してもらい</u>、負担を減らす。 | <ul style="list-style-type: none"> ・子ども会の役員の負担を減らしたい。<u>働いている親でも両立できるアイデア</u>を。 ・<u>行事内容の見直し</u>や、親の負担を減らすように町内会とも話し合いをする。 |
| スポーツ少年団 | | <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団は、その他の種目もやれないか？ ・スポーツ少年団は練習試合に参加せず、地域の行事に参加する。 |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・運動会での<u>父兄の参加</u>を増やそう。 | <ul style="list-style-type: none"> ・<u>運動会後に反省会</u>をするのが良い。気持ちが大らかになっているので、親睦が深まりやすい。 |

| 子ども達を犯罪から守ろう | | |
|---------------------------------------|--|--|
| | A グループ | B グループ |
| あいさつの継続 ↓ 顔見知りになる ↓ 不審者対策 | <ul style="list-style-type: none"> ・不審者に間違えられても構わないので子ども達に多に<u>声掛け</u>、<u>あいさつ</u>をしよう。 ・あいさつ運動を通じて、<u>自分の顔を売ろう</u>。 →不審者と思われなくなる。 ・あいさつ、声掛けは、<u>地域の人が見てるよのサイン</u>。 ・返事のできない子どもにも、<u>地域の目</u>があることを教えるために、積極的にあいさつ、声掛けを皆で行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・登下校の際の<u>あいさつ</u>が少ない。変なおじさんや知らない人とは口をきかない。偏見は学校で指導してほしい。 ・家庭や地域での子どものあいさつについて、懇談会で話題にしてみる。(小学校長) ・毎日あいさつし続けることで、<u>顔を覚えてもらう</u>。 |
| 家庭での教育 | <ul style="list-style-type: none"> ・<u>あいさつするように家庭からも教育</u>してほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつや悪さの指導を地域で行うことも大事だが、<u>家庭での指導</u>も大切。家庭内できない子は、他人が言っても難しい。 →<u>忘れてはいけない視点</u> |
| 犯罪者になるのを防ぐ | | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の安全を守る為に、犯罪の予防、再犯を防ぐ為に、<u>見守り・情報共有</u>をする。行動に移すことができれば。 ・子ども達が犯罪者にならないようにしたい。<u>寛容な心で見守る</u>。 ・必要に応じて、<u>かけ込み寺</u>を作る。 |
| スクールガード | <ul style="list-style-type: none"> ・スクールガードの人の確保。 | <ul style="list-style-type: none"> ・スクールガードは、<u>老人会</u>を活用。 |
| 情報共有 | <ul style="list-style-type: none"> ・スクールガードの存在を知らなかった。<u>地域の子どもの情報を学校と共有</u>することは大切。学校に関わりない人に情報を伝えてほしい。 ・<u>回覧板</u>などで案内する。 ・回覧板は枚数が多いとあまり見ないので、大事な要件の物を上にして回す。 ・アパート住人には回覧が回っていない。広報が必要。<u>ブログ</u>等で情報を伝えたい。 | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の善い行いは多に<u>誉め</u>、悪行は多に<u>叱ろう</u>。 ・<u>かけこみ 110 番</u>のマップを作成する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・親子関係の相談は学校のカウンセラーへ。青少年相談室もある。 |

意見交換の結果を踏まえた「きずながつくる協働の取組み計画案」の修正の主なポイント

◆こんな小学校区にしたい

- ・「笑い（笑顔）」、「つながり」、「あいさつ」などの言葉を用いる。

◆お困りごと・現在の状況

- ・地域の方が子どもに挨拶や声掛けするのは良いことだが、子どもたちには、不審者対策として知らない人に気を付けるように指導せざるを得ないことを追記する。
- ・子ども会に入会する子どもが少ないことを追記する。

◆取組みたいこと

<消防団などと連携し、災害に備えよう>

- ・災害時に消防団 OB の力を借りることができないか検討する旨を追記する。
- ・挿絵などでわかりやすいマニュアル作りに関する内容を追記する。

<スポーツを通じて地域のきずなを深めよう>

- ・スポーツ少年団に校区の運動会に参加してもらえるよう依頼することを追記する。
- ・運動会に参加する意義を理解してもらえるよう広報することを追記する。

<子ども達を犯罪から守ろう>

- ・スクールガードの募集は、やりがいだけでなく、活動内容や募集方法等についてわかりやすくして、住民の認知度を上げるよう修正する。
- ・犯罪の被害者になることを防ぐだけでなく、加害者にさせない（非行防止の）視点も含める。